

透析用装置入れ替えました

2016年6月4日と5日の2日間で透析室の透析用装置と関連機器の入れ替えを行いました。機器の詳細を少し説明致します。透析監視装置34台、水や透析液を送る配管、透析液を作る機械(以下透析液供給装置)、透析用の綺麗な水を作る機械(以下RO装置)、透析装置を監視し治療条件などを送信するパソコン(以下透析通信システム)、体重計など透析に関連する機器ほぼ全て入れ替えを行いました。今現在(6月20日)装置に不慣れな部分はありますが、想定していたより順調に新しい装置に全スタッフ順応してきていると思っています。

「順調な運用開始を目指した取り組み」

新しい透析システムの購入が決定し、本格運用開始まで約60日安全な運用開始を目指し取り組みを始めました。

〔透析通信システム〕

透析通信システムはパソコンです。治療に直接使用する透析装置などを監視し、正常な治療が行われている事が確認できます。

・トレーニング

新しいシステムを理解し慣れるため4月下旬の日曜日、透析室スタッフ全員で、メーカーのショールームにお邪魔し1日学習会を開いて頂き、北診療所でも2回リハーサルを開きました。

・データ入力や業務運用内容の選定

システム運用開始までにパソコン内に様々な情報を入力し、細かな業務内容を決める必要がありました。パソコンへのデータ入力は多岐に亘り、全て担当スタッフ2名が中心となり行いました。

個人情報保護につきまして、インターネットに接続せずメーカーの協力のもと行っておりますのでご安心下さい。



お盆期間の休診のお知らせ

8月11日(木)・12日(金)・13日(土)・14日(日)・15日(月)は休診とさせていただきます。ご迷惑をおかけいたしますが、ご了承下さい。

〔透析監視装置〕

透析監視装置は一番患者様の目に触れる機械です。スタッフも一番触れる機械です。直接患者様の治療を行い体外循環(血液を体外に出し体内に戻す)もこの機械で行われています。

・デモ機、先行導入機

透析監視装置をデモ機及び先行導入機各1台ずつ1ヶ月前に透析室に設置。メーカー担当者からの説明会2回、生理食塩水(以下生食)を使用する方法と透析液を使用する方法の各1回ずつ行って頂き、メーカーに何度か立ち会をお願いし、実際に治療に使用しながら練習を重ねました。特に今回の新しい機械の大きな変更点は生食を使用しなくなる事、手技も大きく異なる為、スタッフ各々時間を見つけて練習していました。練習期間中、色々透析患者様にご迷惑お掛け致しましたが、苦情の声一つ無くご協力頂きましたことお礼申し上げます。

「透析装置入れ替え当日」

まず、透析患者様、騒音や時間帯変更、特に土曜日夜間透析の患者様、午前透析に変更して頂きました。はなみずきご利用の利用者様並びに、ご面会にいらっしゃいましたご面会者様、騒音等ご迷惑お掛け致しました。この書面の場を借り、お詫びとご協力にお礼を申し上げます。6月4日と5日2日間で旧装置の撤去と、新装置の設置を行いました。

〔新透析システムの仕様と対策〕

今回導入した装置の特徴

- ・**生食レス**…生食を使わずに透析を行えます。
- ・**節水**…今回導入したRO装置はかなりの節水効果が期待できます。
- ・**全台OHDF可能に**…旧装置の頃一部の装置で行えなかった治療方法。全台で可能になりました。(HDFとは血液透析にろ過を加えた治療法)
- ・**震災対策**…機械室の一部装置転倒防止の為に天井からワイヤーを通してあります。

最後に今回の装置の購入費用に出資金が使われています。今後のほくとの医療設備の発展の為、出資金増資にご協力頂ければ幸いです。

外来ホールに並ぶ新透析装置



北診だより

二〇一六年七月号



2016年7月1日
東京都北区
東十条2-8-5
生協北診療所
TEL
03(3913)5271
「北診だより」
作成委員会発行

発行責任者
関根 覚



夏期特別増資にご協力を

日頃、生協北診療所をご利用いただき、職員一同、心より感謝申し上げます。

東京ほくと医療生協では、6月、7月、8月を夏期特別増資月間とし、出資金の増資運動に取り組んでおります。

みなさまからお預かりした出資金は、病院設備にはもちろん、東京ほくと医療生協の諸事業の更なる発展の為に役立っております。

今年度は一面でのご報告の通り、最新の透析装置を診療所34台・王子生協病院入院透析に2台導入し、レントゲン装置の更新も行いました。最新の透析装置を導入することで、引き続き患者さんに安全・安楽で安心出来る透析医療の提供を行なっていきたいと思います。

ぜひ夏期特別増資にご協力をお願い致します。生協北診療所はご利用されるみなさまお一人お一人の出資金によって運営・維持されています。ぜひ、医療生協にご加入の上ご利用ください。

草取り&敷石

北診療所建物周辺の雑草を取り除きました。また、建物北西角の看板の横に敷石を行いました。診療所周辺はだいぶスッキリした印象に変わりました。作業して頂きました組合員さん、職員の皆様お疲れ様でした。



今後、花を植えていく予定です



1階総合受付前の七夕飾り



はなみずき3階



北診・介護の健康まつり
十二月十二日(日)開催



「はなみずき」は、話し相手や特技を生かしてのボランティアを募集していますが、なかなか応募がないのが実情です。現在は、傾聴ボランティアさん(北区ボランティアプラザから)が月二回、ミニ喫茶の時ケーキ等を作る組合員、夕方お掃除をする組合員...という状況です。そこで、傾聴ボランティアさんがいらっしやる時間に見学・体験させていただきます。

六月二十一日午前一〇時三十分にはなみずき三階を訪問。利用者さん達はホールでいくつかのテーブルに分かれて座っておられ、中には、新聞やテレビを見ている方、職員手作りのゲームに夢中の方、家族と手芸をしている方、リハビリを受けている方等いました。様々な症状をかかえていらっしやるので利用者さん同士のコミュニケーションは難しそうですね。傾聴の心構え「相手の出身地や子どもの頃の事、好きな事等を聞いてあげる。自分の意見は言わない」を教わり、ひとりの利用者さんに話しかけました。が、緊張してしまい聞き出すことが続かず汗だくでくでした。「初めは皆そんなものよ」と励まされましたが...

四〇分位いましたが、話し相手だけでなく、一緒に歌う・折り紙・脳いきいきでやっている簡単なクイズや体操・手遊びなどもできるのではないかと、そんなことが得意な人達と複数で訪ねられればいいのかな等の感想を持ち、はなみずきを後にしました。

老健はなみずきボランティア募集!

〜傾聴ボランティアを体験して〜

北診療事業所利用委員会・東十条支部 白坂弘子



介護通信 Vol.2



介護老人保健施設(老健)は、こんなときに...

- *入院後急性期の治療を終えて病状が安定してきたが、まだ介護や看護が必要なとき
- *退院時に在宅への復帰に向けて、準備段階として介護やリハビリを受けたいとき
- *介護に疲れる前に!!・・・要介護者、介護者双方の在宅生活継続のお手伝いをします!!
「もう家で介護は限界」・・・と思う前に!介護者が「がんばりすぎない」ために!ご利用ください。
- *通所リハビリの場合、利用者が可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることができるよう、施設へ通いながら、食事や入浴などの日常生活の支援や、生活機能向上のための機能訓練サービスなど受けたいとき